

5/21 小満



石割京大農園  
Ishiwari Kyoto-univ. Farm

# 千両茄子の肥料試験

北圃場では千両茄子を使った肥料試験を実施中。6本のウネ、右2本は無肥料、土壌の力だけで育てる**無施肥対照区**、左2本は施肥を石割さんの処方に従う**石割対照区**。中央の2本は、南丹市のメタン発酵施設から貰ってくるメタン発酵消化液だけで栽培する**消化液区**。全ての処理区で、水遣りや作物の管理を石割さんの指導に従い、肥料の違いだけが茄子の品質と収穫高にどう影響するかを比較するつもり。右列の葉色はすでにやや薄い？ 目的はメタン発酵消化液だけを使って



畑作物がちゃんと栽培できるか検討すること、堆肥や微生物肥料の肥料効果を知ろうとする、このような試験は、消化液に限らず、植物栄養学研究室の主要なテーマですが、その成果はあまり信頼されません。その理由の一つが、比較の基準となるべき慣行栽培区（対照区）の収穫量が低いこと。今や大学のせんせの栽培技術はプロの生産者に比べて著しく劣るので、新しい肥料を用いた収穫量（処理区）と対照区の比較が怪しくなってしまう。この試験では全ての栽培管理を石割さんをお願いしました。さて、石割さんの栽培技術にかかると、消化液区の収量や品質が石割対照区にどこまで肉薄できるのか、とても楽しみです。